

オーディオ画面

ラジオ、カセット、CD(コンパクトディスク)の操作ができます。

GPS付き車

GPSなし



オーディオスイッチ

オーディオスイッチ

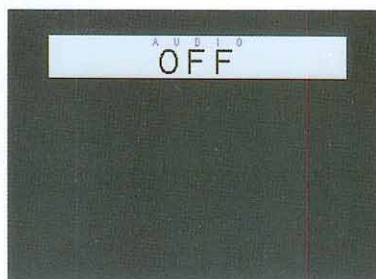


- エンジン停止時は、ラジオ、カセットステレオ、CDプレーヤーを長時間つけたままにしないでください。バッテリーあがりを起こし、エンジンの始動ができなくなります。
- 安全運転をさまたげないように、適量の音量でお聞きください。

オーディオ画面のしかた

オーディオスイッチを押します。

ラジオ、カセット、CD、テレビの電源がはいていないとき



ラジオをお聞きになっているとき

GPS付き車



GPSなし



操作方法は12ページを参照してください。

カセットテープをお聞きになっているとき



操作方法は20ページを参照してください。

CDをお聞きになっているとき



操作方法は26ページを参照してください。

テレビの電源がはいつているとき

GPS付き車



GPSなし



操作方法は52ページを参照してください。

[注] **ビデオ** は別売のビデオアダプターを取りつけられた場合に表示されます。

音量、音質、音場調整のしかた

GPS付き車

GPSなし



サウンドスイッチ

音量調整ツマミ

サウンドスイッチ

音量調整ツマミ

調整画面(サウンド画面1,2)のしかた

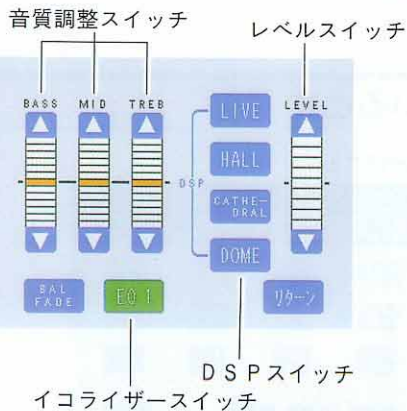
1

サウンド を押します。

- 音質、音場調整画面になります。

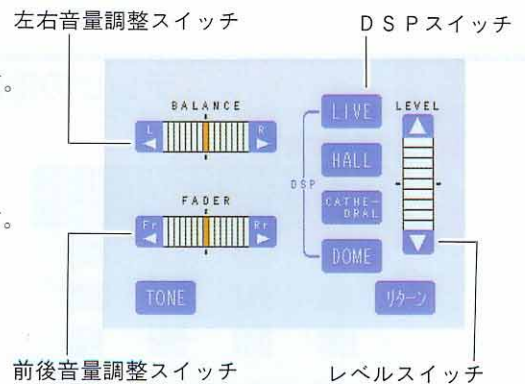
サウンド画面1

サウンド画面2



BAL FADE を押します。

TONE を押します。



2

もとの画面にもどすときは **リターン** を押します。

音量調整のしかた

音量調整ツマミ、サウンド画面2で調整できます。

音量調整ツマミで



サウンド画面2を使って

スイッチの ◀ または ▶ を押すと調整ができます。



DSPスイッチをONにすると、左右音量、前後音量の指針が消えて調整できなくなります。

音質調整のしかた

サウンド画面1の音質調整スイッチ (BASS、MID、TREB) またはイコライザースイッチで調整できます。

イコライザースイッチで

あらかじめセットしてある5種類の音質が選択できます。

- スイッチを押すごとに音質が変わります。

〈表示と働き〉

表示	働き
EQ 1	強調はされません。(フラット)
EQ 2	低音と高音が強調されます。
EQ 3	低音が強調されます。
EQ 4	高音が強調されます。
EQ 5	中音域が強調されます。

新車時には表のようにセットしてあります。
なお、お好みの音質にセットしなおすこともできます。

セットするには

- ① 音質調整スイッチでお好みの音質にあわせませす。
- ② イコライザースイッチをピーと音がするまで押し続けます。

新車時のセット状態にもどすには

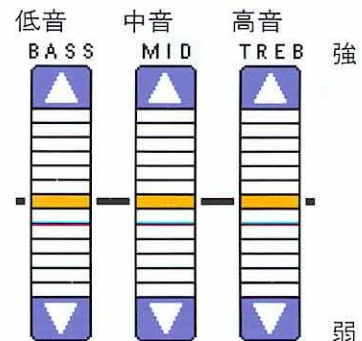
- ① イコライザースイッチを押して、もどしたい表示にします。
- ② イコライザースイッチをピーという音が2回 (1回目は約2秒、2回目はさらに約8秒) するまで押し続けます。

すべてのモードをもどすには、さらにピーという音ができるまで (約10秒) 押し続けます。

音質調整スイッチで

スイッチの ▲ または ▼ を押すと調整できます。

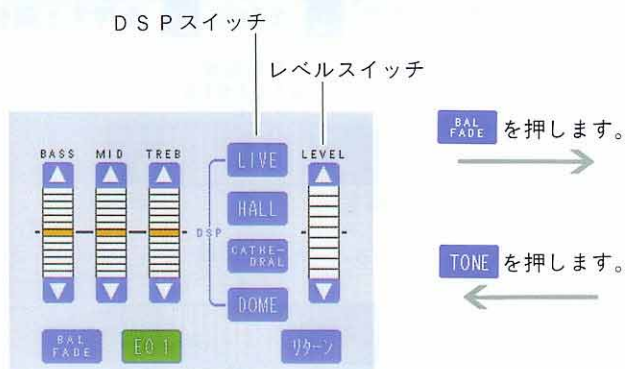
- 強調したいときは ▲、弱めたいときは ▼ を押します。



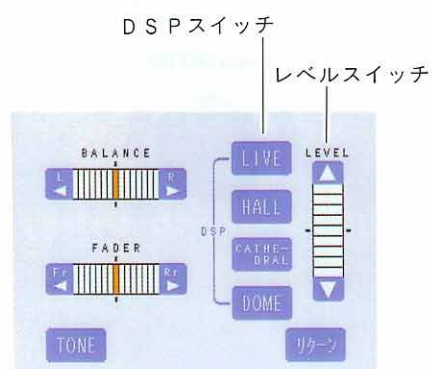
音場調整のしかた

サウンド画面1、2どちらでもできます。

サウンド画面1



サウンド画面2



DSPスイッチで4種類の音場を選べます。

スイッチを押すとON、もう一度押すとOFFになります。

下表を選択の目安にしてください。

表 示	効 果
LIVE	ライブハウスをイメージしたディスコティック音場
HALL	コンサートホールをイメージしたナチュラル音場
CATHE-DRAL	教会音楽やパイプオルガン演奏をイメージした音場
DOME	スタジアムをイメージした音場

- 選択した音場をレベルスイッチで調整できます。
強調したいときは ▲、弱めたいときは ▼ を押します。

A series of horizontal dashed lines for writing, with several light blue shaded rectangular blocks interspersed.

ラジオをお聞きになるときは

オーディオスイッチを押します。

GPS付き車

オーディオスイッチ



F M 1/2切り替えスイッチ
A M切り替えスイッチ
チューニングスイッチ
パワースイッチ/音量調整ツマミ

GPSなし

オーディオスイッチ

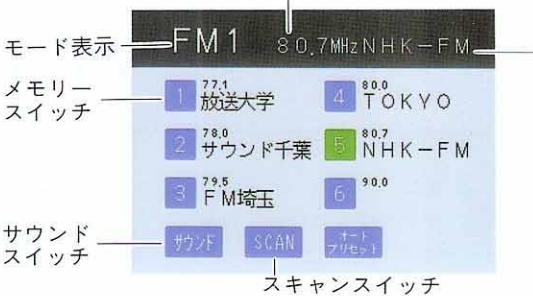


F M 1/2切り替えスイッチ
A M切り替えスイッチ
チューニングスイッチ
パワースイッチ/音量調整ツマミ

FM放送操作画面

GPS付き車

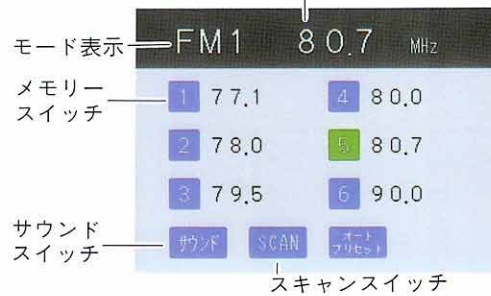
周波数表示 局名表示*



*ナビゲーション機能作動中のみ

GPSなし

周波数表示



AM放送操作画面

GPS付き車

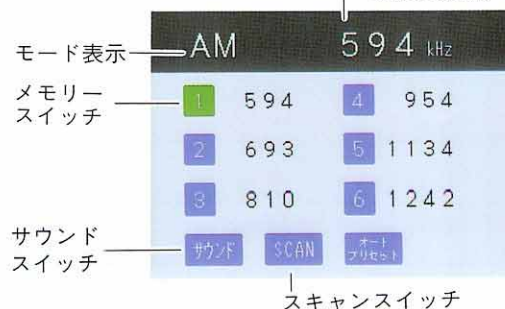
周波数表示 局名表示*



*ナビゲーション機能作動中のみ

GPSなし

周波数表示



ラジオを聞くには

- 1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。
- 2 AMまたはFM1/2切り替えスイッチを押して、AM、FM(1または2)放送の選択をします。
- 3 次のいずれかのスイッチを押して選局します。
 - チューニングスイッチ
 - スキャンスイッチ
 - メモリースイッチ

選局するには

自動選局するには

次の2通りの方法があります。

チューニングスイッチで

スイッチをピーと音がするまで押し続けます。

- ・高い方へ選局するときは \wedge 側
- ・低い方へ選局するときは \vee 側
- もう一度押すと解除されます。

スキャンスイッチで

SCAN をピーと音がするまで押すと高い方へ選局し、放送局があると約10秒間だけ受信し、その後また選局を続けます。

- もう一度押すと解除されます。



アドバイス

- **SCAN** を軽く押すとメモリースイッチ **1** ~ **6** に記憶されている放送局をつぎつぎに選局します。
希望の放送局になったらもう一度押します。
- 受信電波が弱く自動選局できないときは手で選局してください。

ラジオをとめるには

パワースイッチを押します。

- もう一度押すと受信されます。

手動選局するには

チューニングスイッチを軽く押します。

- ・高い方へ選局するときは \wedge 側
- ・低い方へ選局するときは \vee 側

GPS付き車

GPSなし



交通情報スイッチ

チューニングスイッチ

パワースイッチ/音量調整ツマミ

交通情報スイッチ

チューニングスイッチ

パワースイッチ/音量調整ツマミ

FM放送操作画面

GPS付き車

GPSなし



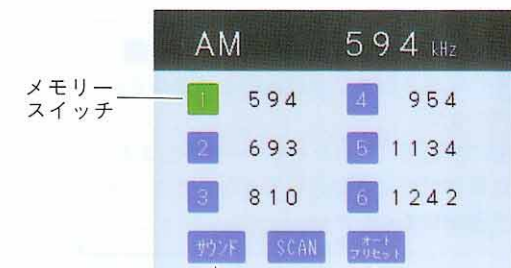
サウンドスイッチ オートプリセットスイッチ

サウンドスイッチ オートプリセットスイッチ

AM放送操作画面

GPS付き車

GPSなし



サウンドスイッチ オートプリセットスイッチ

サウンドスイッチ オートプリセットスイッチ

放送局を記憶させるには

オートプリセットスイッチで

メモリースイッチ **1** ~ **6** に放送局を自動的に記憶させることができます。

- ① AMまたはFM1/2切り替えスイッチを押して、AM、FM(1または2)放送の選択をします。
- ② **オートプリセット** をピーと音がするまで押します。
 - 受信感度の良い放送局の周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
 - 交通情報スイッチには記憶されません。
 - 途中で解除するときはもう一度押します。

チューニングスイッチで

メモリースイッチ **1** ~ **6** に希望の放送局を記憶させることができます。

- ① チューニングスイッチで記憶させたい放送局にあわせます。
- ② メモリースイッチをピーという音がするまで押し続けます。



アドバイス

- メモリースイッチ1つに1つの放送局を記憶させることができます。
- バッテリーとの接続が断たれたときは、記憶は消去されます。
- 受信できる放送局が記憶されると、メモリースイッチの横にその周波数および放送局名が表示されます。(放送局名はナビゲーション機能作動中のみ)
- 受信電波の弱い地域ではオートプリセットできないことやナビゲーション機能作動時でも放送局名が表示されないことがあります。
- チューニングスイッチで記憶した放送局と、オートプリセットスイッチで記憶された放送局は一致しないことがあります。
- オートプリセットスイッチを同じ場所で繰り返し操作した場合、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- オートプリセットスイッチの操作により放送局を記憶すると、**1** ~ **6** のボタンにあらかじめセットされている放送局の記憶は解除され、オートプリセットスイッチで記憶した放送局に記憶しなおされます。ただし、記憶した放送局が6局未満のときは残りのメモリースイッチの記憶は解除されずもとの放送局を記憶します。

交通情報を聞くには

交通情報放送を行っている地域であらかじめセットしてある局が受信できます。

交通情報スイッチを押します。

- もう一度押すと解除され前の画面にもどります。

交通情報画面



アドバイス

新車時には1620kHzにセットしてあります。

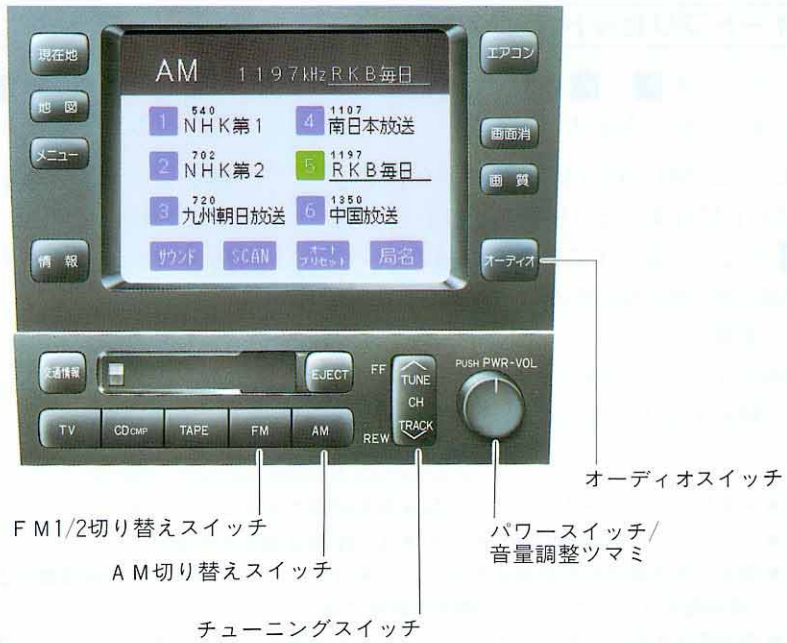
セットするには

- ① チューニングスイッチで記憶させたい交通情報局にあわせます。
- ② 交通情報スイッチをピーという音がするまで押し続けます。



アドバイス

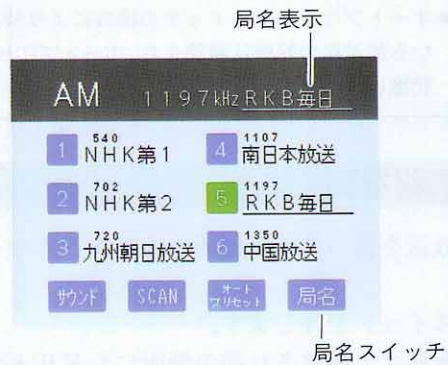
バッテリーとの接続が断たれたときは1620 kHzになります。



■局名スイッチについて **ナビゲーション機能作動中のみ**

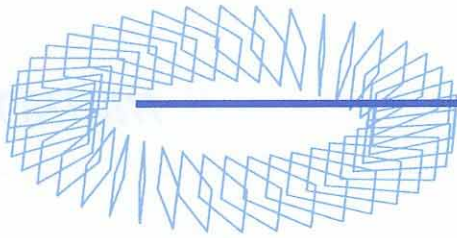
受信周波数の局名が重複している（局名の下にアンダーラインがでます）ときに表示されます。

- **局名** を押して、局名を選択します。
- **局名** を押すごとに局名が変わります。（最大3局まで）



〔注〕 放送局名はナビゲーション機能作動中のみ表示されます。

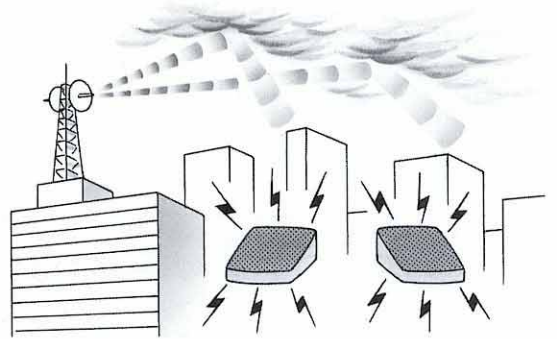
A series of horizontal dashed lines for writing, spanning the width of the page.



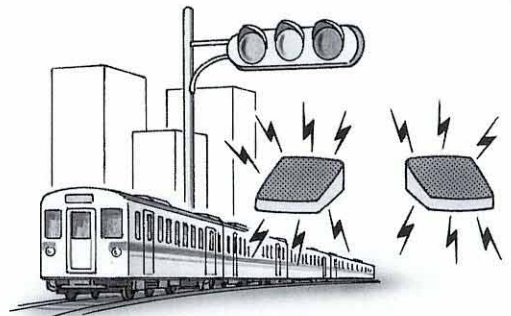
ラジオ放送の電波について

カーラジオの受信は、アンテナの位置が刻々とかわるため電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。

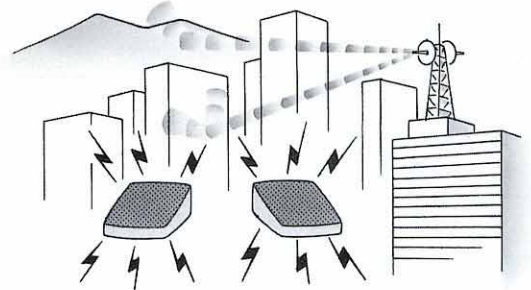
- 電波の特性上、放送電波が上空（電離層）で反射し干渉することがあります。このため受信状態が不安定になり雑音がいったり、混信する場合があります。



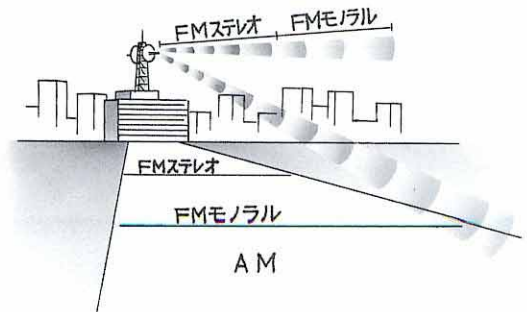
- 電波や信号機の近くを走行すると雑音がいいる場合があります。

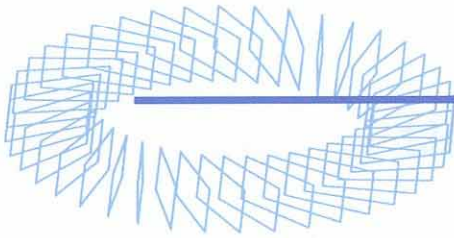


- 電波の特性上、建物や山などが、障害物となり、受信状態が悪くなって雑音はいりやすくなります。



- 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。





アンテナについて

アンテナは、リヤウインドウガラスに埋め込まれています。



アンテナ入りガラス（室内側）の清掃は湿った布で熱線にそって軽くふいてください。ガラスクリーナーなどは、アンテナをいためますので使用をさけてください。

カセットテープをお聞きになるときは

オーディオスイッチを押します。

GPS付き車

オーディオスイッチ

GPSなし

オーディオスイッチ



テープスイッチ

テープ取り出しスイッチ

テープ早送り/巻きもどしスイッチ

パワースイッチ/音量調整ツマミ

テープスイッチ

テープ取り出しスイッチ

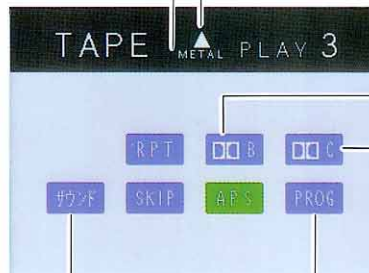
テープ早送り/巻きもどしスイッチ

パワースイッチ/音量調整ツマミ

カセット操作画面

クローム、メタルテープ表示

再生面表示



ドルビー(B)NRスイッチ

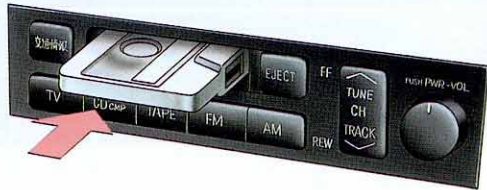
ドルビー(C)NRスイッチ

サウンドスイッチ

再生方向切り替えスイッチ

テープを聞くには

- 1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。
- 2 テープ差し込み口にテープを差し込みます。
 - テープが差し込まれているときは、テープスイッチを押します。



テープを止めるには

- パワースイッチを押します。
- もう一度押すと再生されます。

テープを取り出すには

- テープ取り出しスイッチを押します。
- テープが自動的に押し出されます。

ドルビー(B)NRまたは ドルビー(C)NRについて

ドルビー※(B)NRまたは(C)NRで録音されたテープを使用するときは **DBB** または **DBC** を押します。

- もう一度押すと解除されます。
- ※ドルビーノイズリダクションはドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
- ドルビー、DOLBYおよびダブルD記号 **DB** は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの登録商標です。



- ドルビー(B)NRとドルビー(C)NRは同時に使用できません。
- ドルビー(B)NRは高音域、ドルビー(C)NRは中高音域の雑音低減効果があります。

テープの再生方向をかえたいときは

PROG を押します。

早送り、巻きもどしをするときは

- テープ早送り／巻きもどしスイッチを押します。
- ・早送りするときは **△** 側
 - ・巻きもどすときは **▽** 側

解除するときはもう一度押すか、テープスイッチを押します。

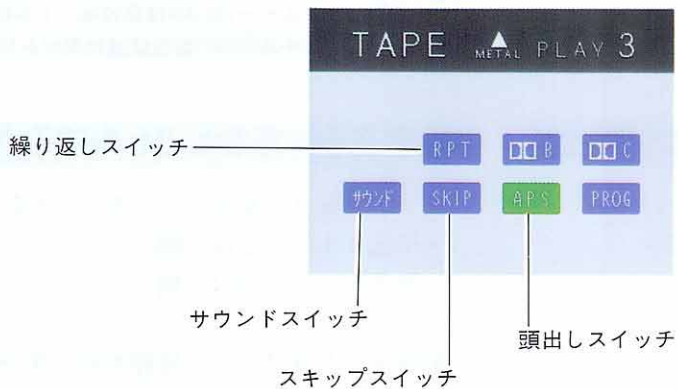
GPS付き車



GPSなし



カセット操作画面



頭出しをするには(自動選曲)

いまお聞きになっている曲の前後9曲の中から希望曲の頭出しができます。

1 頭出しをしたい曲までの曲数だけ(3曲目の場合は3回) **APS** を押し
ます。

- 巻きもどしのときは、いまお聞きになっている曲も曲数に含まれます。



2 テープ早送り／巻きもどしスイッチ
を押します。

- ・ 早送りするときは∧側
- ・ 巻きもどすときは∨側

解除するときにはもう一度押すか、テープス
イッチを押します。



- 次の場合は正常に作動しないことがあります。
- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
 - 曲と曲の間に雑音があるとき

同じ曲を繰り返して聞きたいときは

RPT を押します。

- もう一度押すと解除されます。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約3秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき

無音部分をとばして聞くには

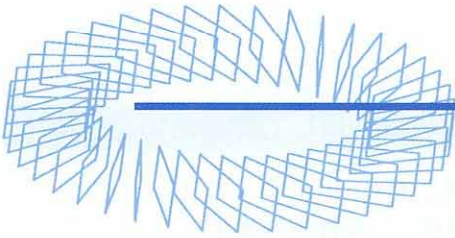
SKIP を押します。

- もう一度押すと解除されます。



次の場合は正常に作動しないことがあります。

- 曲と曲の間の無音部分が約15秒以下のとき
- 曲と曲の間に雑音があるとき
- 曲の始めと終わりが明確でないとき

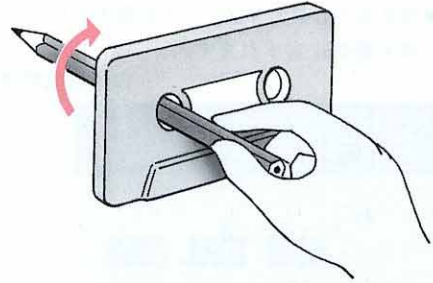


カセットテープについて

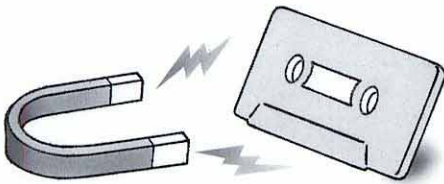
- カセットテープを直射日光の当たるところ、またはほこりのつきやすいところに置かないでください。必ずカセットケースに入れてこれらの場所をさけて保存してください。



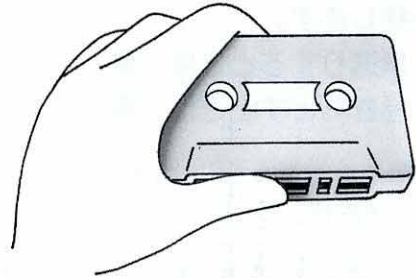
- テープにたるみがあると音がひずむ場合がありますので鉛筆などで軽くたるみを取ってからご使用ください。



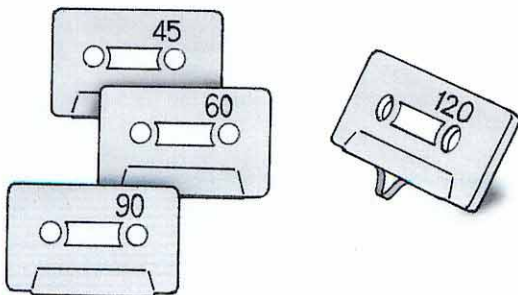
- カセットテープを磁気のあるものの近くに置くと音質が悪くなります。



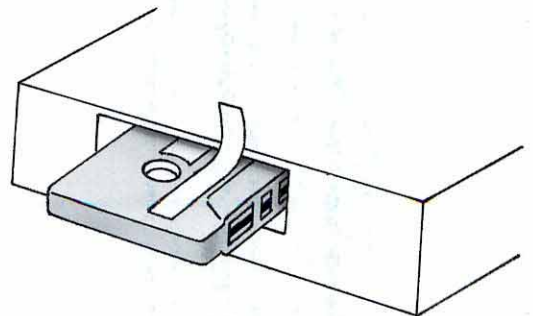
- テープ面に指が直接触れるとテープがよごれ、音が悪くなる場合がありますので必ずケースを持ってください。

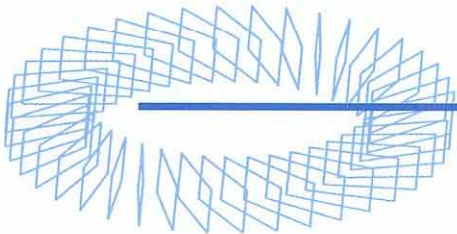


- 120分テープは、60分、90分テープに比べてテープが非常に薄いため夏期の車室内等の熱によりテープが伸びて、演奏時、音がひずむ場合がありますので使用をさけてください。また、60分、90分テープでも粗悪品を使用すると同じ現象があらわれます。



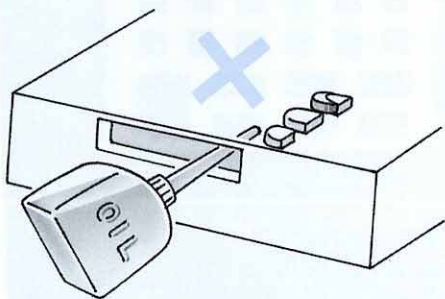
- カセットテープのラベルがはがれかけていたり、ネームテープの貼ってあるカセットテープを使用すると、回転不良やカセットテープを取り出せなくなる場合がありますのでご注意ください。



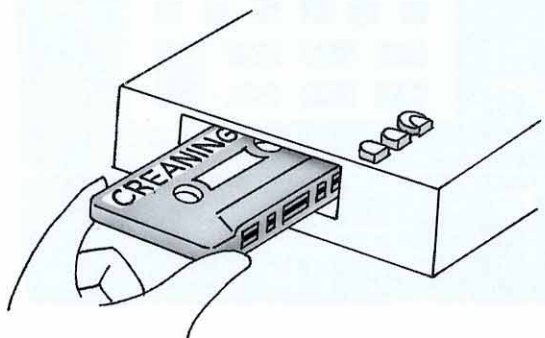


カセットデッキについて

- カセットデッキには油類を絶対に注油しないでください。故障の原因となります。



- ヘッド周辺部（ヘッド、キャプスタン、ピンチローラー）はよごれやすいので1カ月に1回程度は市販のクリーニングテープなどでクリーニングしてください。



- カセットテープ差し込み口には、ドライバーなどの金属や磁石などを絶対にいれないでください。

CDをお聞きになるときは

GPS付き車



GPSなし

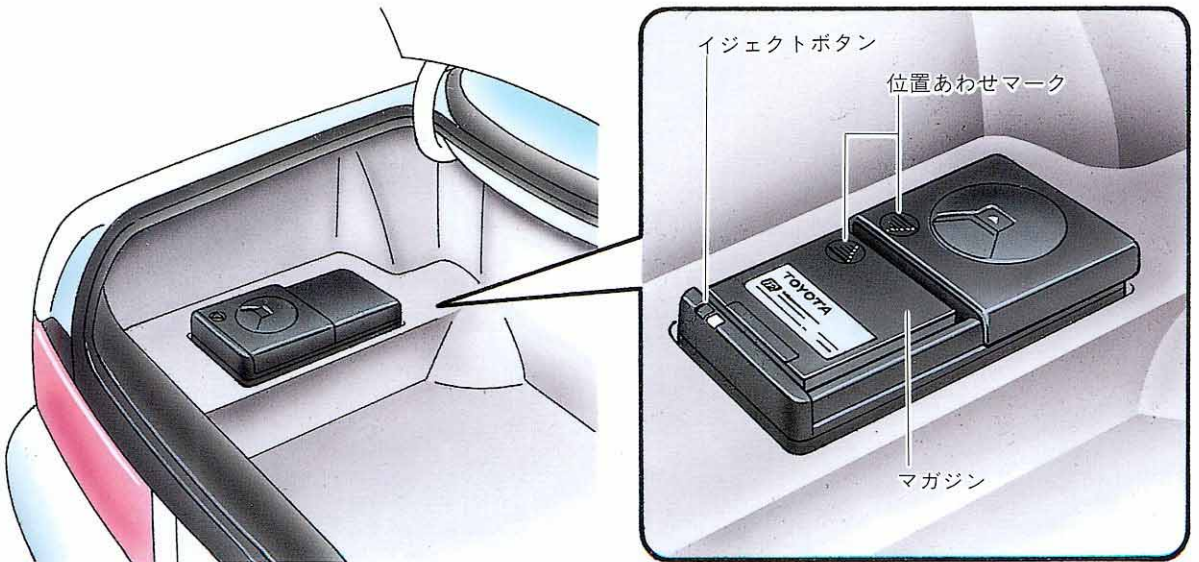


CDをセットするには

エンジンスイッチに関係なくセットできます。

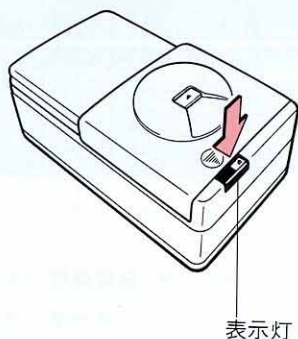
12cm CDを専用マガジンを収納しオートチェンジャーにセットするだけで、12枚の連続演奏ができます。

CDオートチェンジャー(トランク内)



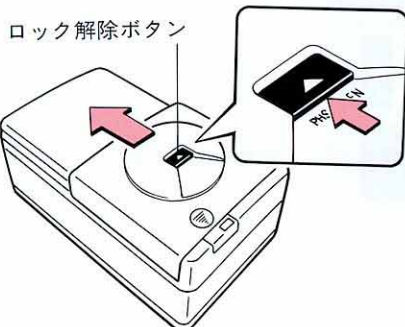
マガジンを取り出すときは

- 1 トランクを開けると表示灯が点灯します。
- 2 オートチェンジャーのイジェクトボタンを押します。
 - 表示灯が点滅し、自動的にマガジンが上昇します。

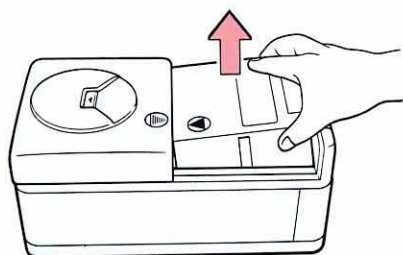


- 3 表示灯が点灯したら、ロック解除ボタンを押し、オートチェンジャーのフタを開けます。

- 開閉はフタをスライドさせます。

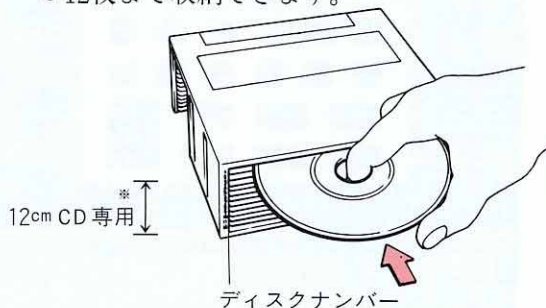


- 4 マガジンを取り出します。



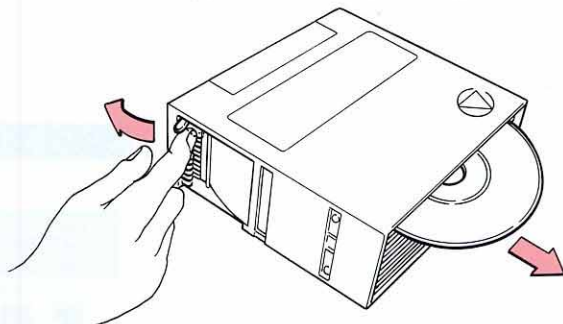
マガジンをセットするときは

- 1 CDのラベル面を上にして、差し込みます。
 - 12枚まで収納できます。

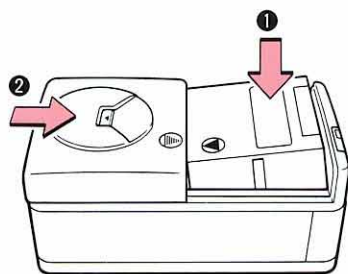


※8cm CDをお聞きになるときはトヨタ販売店にご相談ください。

- マガジンからCDを取り出すときは、マガジン横のレバーを引きます。



- 2 ①マガジンの▲マークとオートチェンジャーの▲マークをあわせてセットし、②フタを閉じます。
 - 開閉はフタをスライドさせます。



- 3 フタを閉じると、CDのセット状態を自動的に検索します。
 - 検索には約90秒かかります。

オーディオスイッチを押します。

GPS付き車



CDスイッチ

トラックスイッチ

パワースイッチ/音量調整ツマミ

オーディオスイッチ

GPSなし



CDスイッチ

トラックスイッチ

パワースイッチ/音量調整ツマミ

オーディオスイッチ

CD操作画面

経過時間表示



ディスクスイッチ

サウンドスイッチ

ディスクスキャンスイッチ


早送りスイッチ

スキャンスイッチ

CDを聞くには

- 1 エンジンスイッチをONまたはACCにします。
- 2 CDスイッチを押します。



早送りするとき

 を押します。

- うしろにあるときは∧側
 - 前にあるときは∨側
- 手を離すと、その位置から再生を始めます。

スキャンスイッチについて

曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生します。



- 1  を押します。
- 2 希望曲になったらもう一度  を押します。
 - その曲の再生を続けます。

CDを止めるには

- パワースイッチを押します。
- もう一度押すと再生されます。

ディスクスキャンスイッチについて

ディスクにはいつている曲の始めの部分を約10秒間つぎつぎに再生します。

- 1  を押します。
- 2 希望のディスクになったら、もう一度  を押します。
 - その曲の再生を続けます。

ディスクスイッチについて

マガジンに収納されているディスクナンバーを表示します。

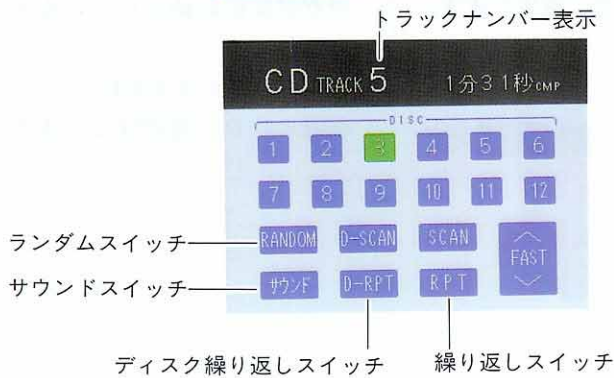
- 表示は最大12までです。
- 希望のCDの選択はこのスイッチを押します。

GPS付き車

GPSなし



CD操作画面



ディスク内の希望曲の頭出しをするには

トラックスイッチを押して希望の曲番を選びます。

- うしろにあるときは∧側
- 前にあるときは∨側

同じ曲を繰り返して聞くには

RPT を押します。

- もう一度押すと解除されます。

同じディスクを繰り返して聞きたいときは

D-RPT を押します。

- もう一度押すと解除されます。

ランダムスイッチについて

セットしたCDの中からオートチェンジャーがランダムに選曲し、再生します。

RANDOM を押します。

- もう一度押すと解除されます。

CDコンプレッションスイッチについて

室内の騒音などで小さい音が聞きにくいときや、小さい音を聞くために音量が大きくなりすぎる時に使用します。

CDコンプレッションスイッチをピーと音がするまで押し続けます。

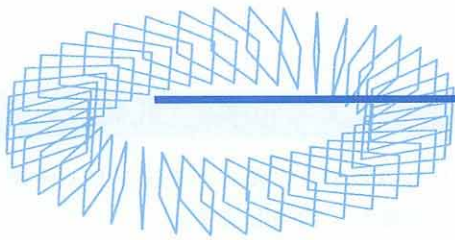
- もう一度押すと解除されます。



処置

プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が停止します。

画面にでたメッセージにしたがって操作しても、機能が停止しているときはトヨタ販売店で点検を受けてください。

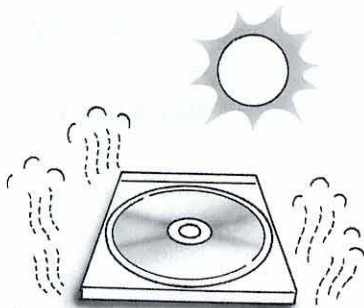


CDの上手な使い方

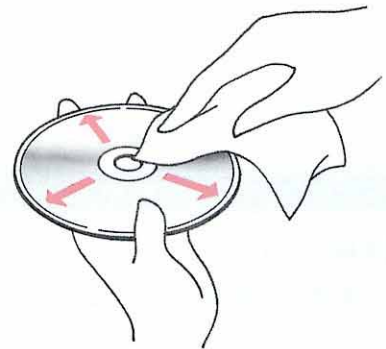
●コンパクトディスクを長持ちさせるには

コンパクトディスクはいままでレコード盤とちがいで、ディスクに記録された信号をレーザー光線で読み取るため、針との接触で磨耗することはありません。しかし、表面やラベル面にキズがついたり、大きくそったディスクは音質の低下や音とびの原因になりますので取り扱いには十分注意してください。

- コンパクトディスクは必ずケースに入れ、直射日光の当たる場所や高温、多湿の場所をさけて保存してください。

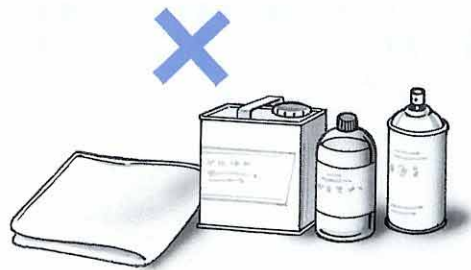
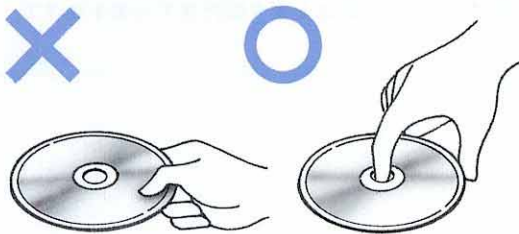


- やわらかい布でディスクの内側中心から外側へ直角方向に軽くふきとってください。



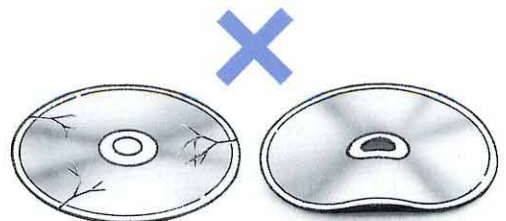
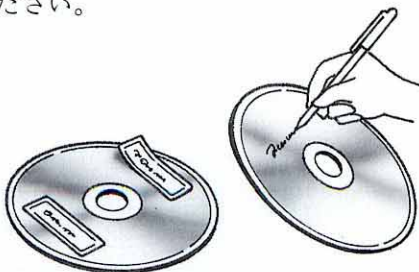
- 信号面（ラベルが貼っていない側）に直接触れるとディスクがよごれ、音が悪くなる場合がありますので必ずディスクの中心の穴と端をはさんで持ってください。

- ベンジン、シンナー、レコードスプレー、帯電防止剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。



- ラベル面にボールペンやサインペンなどで文字を書いたり、紙やシールを貼りつけないでください。

- ディスクはプレーヤー内部で高速回転しますので、ヒビがはいたり、大きくそったディスクは使用しないでください。プレーヤーの故障の原因になります。



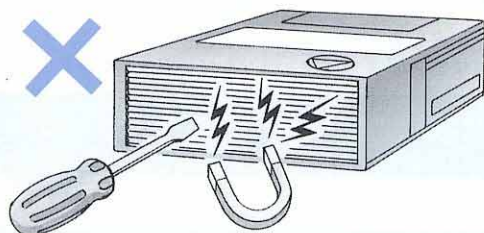
●CDオートチェンジャーを長持ちさせるには

- 下図のマークのついたコンパクトディスク以外は使用できません。

COMPACT
disc
DIGITAL AUDIO

- 寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、プレーヤー内部にも露（水滴）を生じることがあります。この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

- ディスク差し込み口には、ディスク以外のものをいれたり、ドライバーなどの金属や磁石などを絶対にいれないでください。



- 悪路を走行中、激しく振動した場合、音とびをすることがあります。このようなときは、路面のよい道路に出てからご使用ください。